

<No25 : 応用 (路線) >

次の文は、公共測量における路線測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 線形図データファイルは、計算等により求めた主要点及び中心点の座標値を用いて作成する。
2. 線形地形図データファイルは、地形図データに主要点及び中心点の座標値を用いて作成する。
3. 縦断面図データファイルを図紙に出力する場合は、縦断面図の距離を表す横の縮尺は線形地形図の縮尺と同一のものを標準とする。
4. 横断面図データファイルを図紙に出力する場合は、横断面図の縮尺は縦断面図の横の縮尺と同一のものを標準とする。
5. 詳細平面図データの地図情報レベルは 250 を標準とする。

<No26 : 応用 (路線) >

図 26 のように、円曲線始点 BC、円曲線終点 EC からなる円曲線の道路の建設を計画している。  
曲線半径  $R=100\text{m}$ 、交角  $I=108^\circ$  としたとき、建設する道路の円曲線始点 BC から曲線の midpoint SP までの弦長は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

なお、関数の数値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

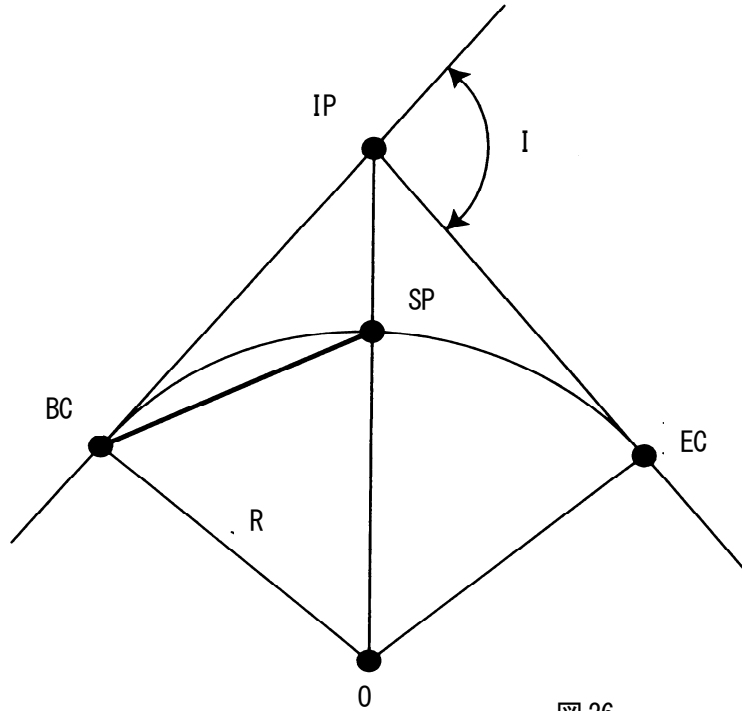


図 26

1. 45.40m
2. 75.00m
3. 90.80m
4. 99.40m
5. 161.80m

<No27 : 応用 (用地) >

境界点 A, B, C, D を結ぶ直線で囲まれた四角形の土地の測量を行い、表 27 に示す平面直角座標系の座標値を得た。この土地の面積は幾らか。次の中から選べ。

なお、関数の数値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

表 27

境界点	X座標 (m)	Y座標 (m)
A	-15.000	-15.000
B	+35.000	+15.000
C	+52.000	+40.000
D	-8.000	+20.000

1. 1,250 m<sup>2</sup>
2. 1,350 m<sup>2</sup>
3. 2,500 m<sup>2</sup>
4. 2,700 m<sup>2</sup>
5. 2,750 m<sup>2</sup>

<No28 : 応用 (河川) >

次の文は、公共測量における河川測量の距離標設置測量について述べたものである。

～  に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

距離標の設置間隔は、河川の河口又は幹川への合流点に設けた起点から、河心に沿って  を標準とする。距離標は、図上で設定した距離標の座標値に基づいて、近傍の  基準点等からトータルステーションによる  のほか、キネマティック法、RTK 法又はネットワーク型 RTK 法により設置する。ネットワーク型 RTK 法による観測は、間接観測法又は  を用いる。

	ア	イ	ウ	エ
1.	500m	3級	放射法	単点観測法
2.	200m	2級	2級基準点測量	単点観測法
3.	200m	2級	2級基準点測量	単独測位法
4.	200m	3級	放射法	単点観測法
5.	500m	2級	2級基準点測量	単独測位法